

1. 開催概要

- ・ 開催日 : 2021年10月22日 (金) 18:00~20:00
- ・ 開催場所 : Zoom 開催
- ・ 進行役 : 加藤 (本年度座長)
- ・ 議事録作成 : 芦田
- ・ 出席者数 : 7名 (出席者名は末尾参照)

2. 議事内容

(1) 第41回運営会議議事録より抜粋説明

補足)

- 伊藤幹事より辞任の申し出があった
- 会員数推移について、順調に増えている状況
- タスクフォースの進捗について・・・> 議事録をきちんと出すこと
- 12月のセミナー構成について
- 防災国体について

(2) セミナー開催について

- ・ 時期についての確認
 - ネット開催前提で進めればいつでも可能と考える
 - 12月を想定
- ・ 関西研究会と合同で開催する
 - 野原さんから関西研究会に連絡する
- ・ 開催内容について
 - ・ 前回までに出ている内容で進めるのが良いではないか (議事録から振り返る)
 - ・ 加藤さんが演習をやっていたことを Zoom でやってみては？
 - 2時間かかったものなので、時間的に短いですが、検討してみる
 - ・ 大阪ガス事例 ビデオ撮りしたものを活用しては？

(3) 災害対策本部ポータルについて

資料を参考に確認 (10/7の地震事例)

<https://www.risktaisaku.com/articles/-/59789>

・ 実際問題、簡単にポータルは作れるの？

- それ以前に、電気とネットワークが大丈夫なのが前提では？
- そもそも BCP として大丈夫？
- 災害があった際、アクセス権設定とかも含めて実際1時間で対応出来るのか？
- 平時から使っている、若しくはガワだけでもあれば災害時でも問題無いかと思うが、流石に1時間は誇大広告なのでは？
- 大部屋対策本部についてはネットを利用したポータルが適切である

・ 移動出来ずネットもダメな時の手段を考える

(1) 交通が遮断された時、燃料が運べなくなる問題の現状について

- ・ データセンターも72時間程度しか持たない
- ・ GS の活用は
 - タンクの使用期限は？
- ・ 水素を内燃機関とした場合
 - 結局移動出来ないなので問題は変わらない

(2) ネットワークがダメだった場合の通信手段 (衛星、EV、他) について

- ・ 衛星経由ではどこまで使えるのか？
 - イリジウム、NTT、ロシアの衛星がある
 - AU の iPhone13では低高度の衛星をキャッチして通信出来るとの報道があった

- EV
 - V-HUB の仕組みもあるが、輻輳が多そうで使えないのでは
 - V-HUB は EV が前提。ただし使えるまではまだ5年～10年かかるかも
 - アンテナの指向性もあるかと
- ネットをダブルで対応していればいけるかも(東京はダメでも大阪は大丈夫等)
- アマチュア無線を活用した場合はどうか？
- Apple AirTag について
 - <https://www.rentio.jp/matome/2021/04/airtag-review/>
- 低軌道衛星の活用が良いのでは？
 - 今後の展開も報道されている。コスト的にも安いとの情報。山間部も届く
 - <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01537/00157/?P=2>
 - インドでは最初から衛星を前提に展開
 - 地上での IX は必要には変わらない
- 通信手段によっては個人認証の問題もある

問題提起&まとめ)

単純にネットワーク上にポータルが作れただけの話では
移動出来ず(集合せず)、ネットが生きている時の話しに置いては有効である
使う情報・使う範囲もある程度限定すれば使える

3. 次回

11月24日(水)18時～20時、Zoom 開催

4. 出席者(敬称略 50音順)

芦田、大塚、岡、加藤、近藤、野原、水落

以上